

令和五年 秋の叙勲

旭日中綬章



石田 忠夫 (80歳) 富来領家町
元石川県議会議員

町議会議員として1期務めた後、県議会議員として8期32年、通算36年間、県政・町政の発展に努めました。県議会では、二度の議長就任をはじめ、議会運営委員長、総務企画委員長、産業委員長、県監査委員などを歴任し、地方自治の発展と住民福祉の向上、産業の振興、環境整備の促進などに貢献しました。

「名誉な受賞で大変光栄に思います。人生の半分近くの年月を志賀町、石川県の発展に捧げてきました。長年、議員活動ができたのは、支えていただいた地域の方々の協力のお陰であり、心から感謝を申し上げます。築いた人脈が宝です。これからも地域社会の発展・振興に努めていきます」と話しました。

瑞宝中綬章



谷 釜 了 正 (75歳) 里本江
元日本体育大学学長

正久寺(里本江)で任職を務めながら、6年7カ月にわたって日本体育大学の学長を務め、世界で活躍する選手や教員、研究者を数多く輩出しました。

東京教育大(現筑波大)大学院の修士課程を修了後、平成22年に母校の日本体育大学で学長に就任。任期中、大学出身者による教員の体罰が社会問題となり、指導者育成期間でもある日体大の責務だとし、平成25年に「反体罰・反暴力を宣言します」と声明を発表し、スポーツ界の意識改革に尽力。またオリンピック招致活動にも力を注ぎました。

「子どもの命を輝かせる場所で暴力は許されないと訴えてきました。また東京五輪は、苦境にある世界を結束させ、多くの感動が生まれました。スポーツは宗教や民族を越えて人をつなぐ力を持っていると伝えたい」と話しました。

長年にわたり、それぞれの分野で
尽力された方々が、榮譽に輝かれました。

第41回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



坂井 茂 (70歳) 坪野

元羽咋都市広域圏事務組合消防司令長

昭和47年に羽咋都市広域圏事務組合消防本部消防士を拝命し、42年間勤めました。消防団との連絡調整や志賀消防署の西山台への移転、消防救急無線のアナログ方式からデジタル方式への移行などに携わりました。「名誉な受章で大変光栄であり、皆さまのお陰です。在職中のほとんどが、朝仕事に行き、次の朝帰る一日置き勤務だったので、家を守ってくれた家族、特に妻には本当に感謝しています。この榮譽に恥じることのないように精進し、今後は防災士の資格も生かしていきたい」と話しました。

退職後は、農業に力を入れ、現在は、農協の総代や(株)能登ファーム志賀の役員を務めています。

瑞宝单光章



湯高 太喜夫 (61歳) 谷神

元3等陸尉

昭和56年に自衛隊に入隊、名古屋・横浜・朝霧・春日井の部隊で、主に輸送科職種隊員として勤務し、平成28年に54歳で定年退職を迎えました。

平成5年、横浜部隊から第2次カンボジア派遣施設大隊輸送中隊として国際平和維持活動に従事。また災害派遣においては、春日井部隊から東日本大震災被災者救援のため東北地区に派遣され民生支援に従事しました。

「富来高校卒業後、自衛隊勤務を全うできたのは家族の支えをはじめ、諸先輩、同僚、後輩のお陰です。何事にも感謝の気持ちを忘れず、地域と共に頑張っていきたい」と話しました。

地域貢献として、谷神区会計や町交通安全協会の監事などを務めています。

瑞宝单光章



坂口 博 (73歳) 高浜町

元警部補

昭和44年4月から警察官として36年間勤めてきました。若い頃には2年間機動隊員として勤めましたが、交番や駐在所などの地域警察官としての経験が長く「地域住民との対話と融和」を大切にしながら務めてきました。56歳で退職し、その後も7年間交番相談員として勤務し、警察関係の仕事は43年間勤めました。

「地域といい関係を築き、平穏と安全を守ることを信念に努めてきました。また、上司や同僚、後輩、家族、地域の人のお陰で続けることができました。今回の受章は名誉なことであり、自分に関わる全ての人に感謝したい」と話しました。

第4次行政改革大綱・ 集中改革プラン実施状況

町では、令和2年度から6年度までの5年間を推進期間とする第4次行政改革大綱・集中改革プランに基づき、行政改革を進めています。

令和4年度は健全な財政運営の推進をはじめ、行政ニーズに対応した組織体制と定員管理の適正化や、学校施設（旧小学校）解体整備の推進、町立富来病院の経営健全化の推進、税の収納率の向上、多様な納付方法の検討、ICT（情報通信技術）の有効活用などに取り組みました。集中改革プランに登載の20の改革項目のうち、主な取り組みについてお知らせします。

図総務課 ☎ 32-9311

行政改革推進委員会

基本方針

1

次世代につなぐ経営基盤の確立

◆健全な財政運営の推進

町税、普通交付税の減収があったものの、経常経費の縮減に努めた結果、財政調整基金を取崩すことなく、実質単年度収支は、黒字（7,000万円）となりました。

【主な財政指標】

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
財政力指数 ※1	0.59	0.57	0.55
経営収支比率 ※2	95.4	90.9	92.7
実質公債費比率 ※3	8.3	8.6	8.8

※1 行政運営に必要な経費をどれだけ自前（町税など）で調達できているかを示す指標

※2 町税などの収入に占める経常的な経費の割合

※3 町税などの収入に占める借入金の返済割合

◆行政ニーズに対応した組織体制と定員管理の適正化

令和5年度からの定年の段階的引き上げと役職定年制の導入等を踏まえ、組織体制のあり方や中長期的な定員管理を検討しました。

◆学校施設（旧小学校）の解体整備の推進

すでに決定した方針に従い、旧志加浦小学校の校舎棟解体などを実施しました。引き続き、竣工年次の古い校舎（旧堀松小学校）を解体する方針を確認しました。

◆町立富来病院の経営健全化の推進

常勤医師1名を確保し、耳鼻咽喉科と高齢者内科を新設したことにより、外来患者数が大幅に増加し、医業収益が増額となりました。

◆税の収納率の向上

中能登地区地方税滞納整理機構に職員を派遣し、連携強化を図りました。また、滞納処分の早期着手のため、預貯金等照会サービスの運用を開始しました。

◆多様な納付方法の検討

令和4年7月20日から公金（4税・4料金）のクレジットカードおよびネットバンキング支払いや、窓口手数料のクレジットカード・電子マネー支払いおよびQRコード決済など、多様な納付方法を提供し、住民の利便性向上や収納事務の効率化を図りました。

基本方針

2

次世代につなぐ行政サービスの構築

◆ICT（情報通信技術）の有効活用

国が進める「デジタルガバメント実行計画」などに基づき、子育てや介護、高齢者福祉関係など44の手続きについて、マイナポータルを活用したオンライン申請が可能となる仕組みを構築しました。



うし工作コンテスト展示と大賞受賞の戸野陽葉さん



いしかわ百万石文化祭 2023

和牛 サミット in 志賀

日本が世界に誇る食文化『和牛』
についてもっと知ってみよう！

林家三平氏による落語披露



オープニングステージの
和太鼓披露



和牛サミット in 志賀
和牛サミット パネルディスカッション
テーマ3
和牛の食べ方 裏メニュー



「尾崎牛」生産者
尾崎宗春氏の
講演会



10月29日(日)、いしかわ百万石文化祭「和牛サミットin志賀」&「和牛フェスティバルin志賀」が志賀町文化ホールで同時に開催されました。

「和牛サミットin志賀」では、「日本が世界に誇る食文化『和牛』についてもっと知ってみよう!」をテーマに、全国の有名ブランド和牛肥育農家や肉検定1級を持つタレントのフォーリンデブはっしー氏などによるトークイベントのほか、林家三平氏による和牛に関する落語が披露され賑わいました。また、町内小学生による牛の工芸や絵画が展示され、多くの家族連れが作品に見入っていました。

クイズラリーでは、たくさんの子どもたちが、牛飼育展示コーナーで学びながら、牛に関するクイズに答え、景品をもらいニコニコ笑顔。石川さんのエアートランポリンや縁日コーナーも賑わいました。ゆるキャラ「石川さん」、「能登牛ベこりん」、「西能登あかりちゃん」なども登場し、人気を集めました。イベントの最後には、和牛などが当たる抽選会があり、大いに盛り上がりました。

また、「和牛を堪能できる『和牛フェスティバルin志賀』では、全国から和牛のキッチンカーや地元グルメ・スイーツが大集結し、大行列の人気ぶりでした。